

【高知県観光活性化ファンド】

持株会社型 DMO ものべみらいを経由した「株式会社龍河洞みらい」に対する投資決定について ～天然記念物「龍河洞」を核に地域の観光活性化を推進(高知県物部川地域)～

株式会社地域経済活性化支援機構(以下「機構」という)のファンド運営子会社であるREVICキャピタル株式会社(以下「REVICキャピタル」という)が株式会社四銀地域経済研究所と共同運営する「高知県観光活性化ファンド(以下「本ファンド」という)」は、持株会社型DMOである株式会社ものべみらい(以下「当社」という)に対し、当社が公益財団法人龍河洞保存会(以下「保存会」という)と共同で株式会社龍河洞みらい(以下「龍河洞みらい」という)を設立するための投資を決定しました。また、REVICキャピタルの専門人材を龍河洞みらい及び保存会の双方に対して取締役又は理事として派遣することを決定しましたので、併せてお知らせいたします。

※ 本件は、アンパンマンミュージアム(香美市立やなせたかし記念館)に隣接するホテル等の運営管理者である旧第3セクターの株式会社香北ふるさとみらい(旧株式会社香北ふるさと公社)取得に次ぐ2号目の案件となります。

龍河洞は、1931年に発見され、地元住民が観光鍾乳洞として運営・案内を開始しました。1934年には国の天然記念物・史跡(文化財)に指定され、1970年代には年間100万人余の来訪客数を記録しましたが、昨今は年間10万～11万人程度を推移しております。一方で、龍河洞には古代からの巨大鍾乳石や、鍾乳石に包まれた弥生土器「神の壺」等希少性の高いコンテンツに加え、幻想的・神秘的な空間やパワースポット的な要素を兼ね備えており、現代の国内・海外の観光客に訴求し得るポテンシャルを十分に有しております。

龍河洞みらいは、地域の関係者と共同して新たな観光コンテンツを開発するとともに、物部川地域の主要観光資源である天然記念物「龍河洞」の管理運営団体である保存会から、マーケティングや運営統括、イベント企画業務等事業の一部の委託を受けることにより、観覧客の満足度の向上と滞在時間の増加を図るとともに、物部川地域、ひいては高知県の観光消費額の増大を目指してまいります。

今後、本ファンドは、本取組みを通し、経営・マーケティングノウハウの承継と後継者の指導・育成を推進するとともに、観光資源でもある文化財の管理運営を行う公益認定法人への経営・マーケティング支援モデルの構築を目指してまいります。また、物部川地域における「観光産業」と「6次化産業」の統合による経済活性化モデルの実現を追求してまいります。

【投融資先の概要】

社名	株式会社龍河洞みらい
所在地	高知県香美市土佐山田町逆川
代表取締役	古川 陽一郎 (機構からの派遣)
事業内容	・観光事業者のマーケティング、顧客向けサービス、運営、営業、広報に関する業務 ・体験商品やイベントの企画、運営及び受託に関する業務 等

【保存会の概要】

社名	公益財団法人龍河洞保存会
所在地	高知県香美市土佐山田町逆川
代表理事	岡崎 淳一
事業内容	・龍河洞の管理及び保存を行い一般に公開すること ・観覧者又は研究者の便益を図ること ・龍河洞の顕彰に必要な各種事業を行うこと 等

【ものべみらいの概要】

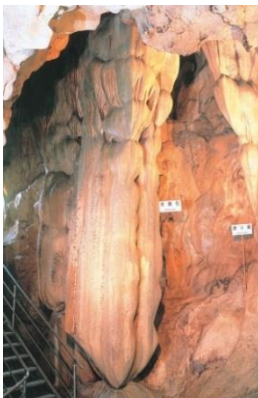
社名	株式会社ものべみらい
所在地	高知県南国市大桶甲
代表取締役	古川 陽一郎（機構からの派遣）
事業内容	(本ファンドが 2016 年9月 12 日に投資実行し、設立) ・物部川流域に所在する観光及び生産・加工事業者に対する投資、経営支援 ・インターネットを通じた観光商品、地域産品・加工品のマーケティング・企画・販売 ・事業者や団体に対するマーケティング等の集客ソリューションの提供

【高知県観光活性化ファンドの概要】

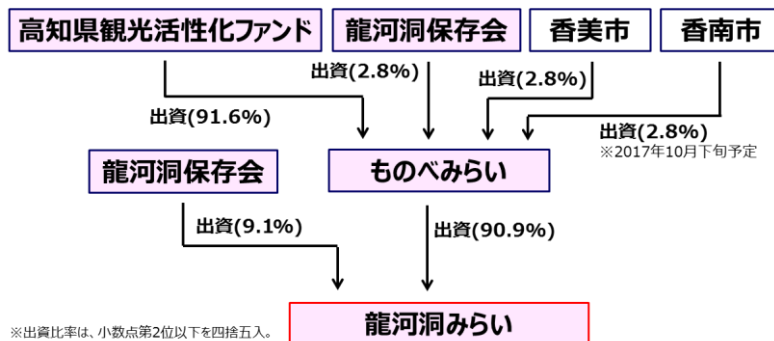
<http://www.revic.co.jp/business/fund/26.html> 詳細は機構ホームページをご参照ください。

【参考資料1：龍河洞の景観等】

- 天降石(1億7500万年をかけて形成された鍾乳石)
- 毎年12月に開催されるクリスマスキャンドルナイト時の演出
(左:LEDライトアップ、右:キャンドルアート装飾)



【参考資料2：出資形態(投融資実行後、予定)】



以上

<お問い合わせ先・ご相談の連絡先>

株式会社地域経済活性化支援機構

〒100-0004 東京都千代田区大手町1-6-1 大手町ビル9階

代表:TEL 03-6266-0310 地域活性化支援部: TEL 03-6266-0590